

第1回学校運営協議会会議録

開催日時	令和8年7月2日(火) 10時00分～11時30分
会 場	北海道北斗高等支援学校被服室
出席者数	学校運営協議会委員9名 学校事務局4名
内 容	
1 委員紹介	
2 説明・質疑・応答	
(1) 令和8年度学校経営方針	
・ 内容について承認	
(2) 令和7年度 資格取得・表彰等の実績	
・ 質疑なし	
(3) いじめ防止基本方針	
・ 今年度のアンケートの結果を受け、いじめの認知があった。	
(4) 令和8年度の主な行事	
・ 開校10周年記念事業は次年度に行う。	
(5) 令和8年度在籍生徒数・職員数・R7 進路状況	・ 生涯学習の視点からすると18歳で働くという選択肢しかないのではなく、絵が得意、デザイナーになりたい等、もっと勉強したい、など個別のニーズも把握しながら推進する。 ・ 進学希望については、進路担当として、学力など入学してからのことをしっかり考えて進路を決めるようにしている。 ・ 一般の学生は、働いてお金を稼ぐ実経験がない。学校は授業1時間単位で休憩があるが、働いたら4時間は休憩せず働くなくてはならないなど、実際大切にしなければならないことをしっかりと伝えることは重要である。 ・ 特別支援学校の生徒は、卒業する前に、制度(障害年金)やお金の学習をしてほしい。車の免許と車を購入しても、ガソリン代や保険代、車検代が必要になってくる。お金を管理出納簿で管理できるようになってほしい。そのことを分かって社会に送り出してほしい。 ・ 高校の無償化が制度化され、私立へ進学する学生が多くいますが、入学してからの負担増が大きな問題になっている。家庭の生活状況も考えながら上手に制度を利用してほしい。 ・ 大学卒業後に就労して、後で発達障害が分かり、就学選択事業を利用して、就労支援事業B型に就労している方がたくさんいる。高校や高等支援学校と協力しながら、早期に支援が必要になってくる。
(6)働き方改革について	
・ 現状を持続する。	
(7)今年度の学校運営協議会	
・ 質疑なし	
・	
3 熟議「これからの10年を見据えた、教育活動の新たな充実に向けた取組のアイデア、ご意見、ご助言について」	
【Aグループ】	
・ 本校生徒がどのようなところで体験や貢献ができるか。例えば、老人クラブでは、モルックやカラオケで一緒に楽しむことが地域の貢献につながるのではないかと。また、農家の畑仕事や栽培を理科の授業の中で学習していくことや、ビルメンテナンスのスキルを生かして、ハウスクリーニングの活動も取り入れられるのではないかと、等話し合われた。	
【Bグループ】	
・ デュアル実習の学習で生徒の自信につながっていることと、地域住民からの励ましの言葉が意欲につながっている。	
・ 生徒が仕事をしている姿だけではなく、高校生らしく学校祭でダンスや演劇を楽しんでいる姿を見てもらえると、より地域と学校の関係性が深まってくる。	
・ 今後のデュアル実習を考えると、新たな分野として、事務補助で可能性がある。例えば、大学等の印刷業務やイベントの記念冊子の製作等がある。	

4 助言

【会長から】

- ・ 日本の文化に合わせたインクルーシブ教育の実現が、上磯高と北斗支援の取組であるとアピールしてほしい。

5 校長から

- ・ 貴重な意見をいただき、学校で検討する。今後も地域の協力をお願いしたい。



上記のとおり会議を実施した。

令和8年7月2日 北海道北斗高等支援学校長 清 弘 直 行 ㊞